

今こそ、「ひと」を大事にする  
津山市に



市民と歩む会  
黒見節子

学校教育

**問** 加茂小での旧阿波小の子どもたちの生活は。

**答** 次第に慣れ、新しい友だちと元気に活動していると報告を受けている。

るための調査」活用の可能性を探る。

移住

**問** 事務・情報・流通の企業誘致、I・J・Uターンの情報、雇用後の追跡調査の状況は。

**答** 引き続き企業誘致を展開する。移住サポートセンターを設置し、空き家・雇用の情報を提供する。雇用後の追跡調査も検討する。

文化

**問** 伝統的技術の保存、映像化の可能性は。

**答** 伝統的技術の保護・保存を図っていく。文化庁の「地域の文化遺産を総合的に把握す



平成26年11月に開催した「津山の暮らし体験ツアー」での阿波地区の見学の様子

施政方針の「産業経済部の再編」の再編とは



津山誠心会議  
野村昌平

行革

**問** 施政方針に「産業経済部の再編」とあるが、どこをどう変えるのか。狙いや実効性は。

**答** 成長戦略の「ものづくり」「農林業」分野の取り組みを強化するため、新産業創出課を発展的に解消し、「みらい産業課」を創設し、企業サポート係と地域資源活用係を配置する。

企業サポート係には市内企業の活性化及び雇用創出を効果的にサポートする窓口として「つやま産業支援センター」を4月から開設する。

地域資源活用係では、農商工連携と6次産業

化の取り組みにより農林業の川下分野への支援を推進する。定住推進室は、「仕事・移住支援室」と改め、I・J・Uターンの推進や就労支援の取り組みを強化する。



つやま産業支援センター開所式

町並み保存と産業振興について



緑風会  
西野修平

援センターに相談いただき、関係機関の支援策を活用した支援を行いたい。

農地

**問** 農地中間管理機構ができたが、津山市とJAが独自の手法を用いなければ農地を有効活用し、農業の発展につなげることは難しいのでは。

**答** 農地中間管理事業は昨年7月から受け手の募集を開始し、事業着手、集落座談会などで制度の周知を図っている。運用面に関し必ずしも現状に即したものとないこと、普及に苦慮している。



津山洋学資料館

産業

**問** 洋学資料館東隣に名門の会社の工場がある。関連会社は新しい場所で操業しているが、産業振興面での考えは。

**答** 工場では農機具部品を作っておられ高い技術力を持つ優秀な会社と聞いている。このような会社が移転などの予定があれば産業支